

平川：板東さんが野球選手としての引退を真剣に考えられたのは、どのような理由からですか？

板東：プロ10年目でもうヒジが思うように動かなくなっていたんです。字も書けないですし、風が吹いて障子が揺れただけで痛みましたから。現代の医学なら手術で治りますけど、その頃はまだ無理だったんです。

平川：その後引退されて数々のビジネスに挑戦して来られて「これはツラかった」というお話があれば聞かせて頂きたいんですが。

板東：辛いというほどではないんですけど、過労で一度だけ入院したことがあるんです。その頃いろんな商売をしてまして、朝の10時にサウナのボーラーに火を入れて、その後、割烹でお昼の仕込



み、雀荘も経営してましたからそれも開店させて、次はサウナのオープンでしよ、夕方からはナイトクラブが始まって朝の4時にはホテルなんか牛乳を配達してました。その間に野球解説やタレントのまねごともしていましたから寝る時間がなかったんですよ。唯一眠れたのが野球解説の時でした(笑)。

平川：現在はネットビジネスも展開されていますが、ご自身が運営されているECサイト「板東商店」がオープンしたいきさつをお聞かせください。

平川：そういうバイタリティーはいつたどこから生まれてくるんでしょうか？

板東：ただ食べて行けるということとがうれしかったんです。貧しくて他人の物を盗んでも……という屈辱を思えば、まったく平気でしたな。

平川：現在はネットビジネスも展開されていますが、ご自身が運営されているECサイト「板東商店」がオープンしたいきさつをお聞かせください。

板東：これは以前、講演で冬の秋田へ出かけた時のことなんです

気のよい日に塩や醤油を宅配が届けてくれるという生活なんです。これはあり得る話だと思います。そういう人たちに對してテレビなんてなにも供給していないんですよ。そこでインターネットは費用もあまりかかりませんし、将来的にもそういう時代が来ますからいまのうちにと思ひまして。

平川：テレビだけではなく常に多方面で頑張られていますか？

「ちょっと時間を止めてゆくりしたいな」と思われることはないでしょうか？

板東：んー、そういうふうには思いますが、お婆ちゃんが自宅でコンピュータを使ってましてね、それはどういこうとかというところが多くてお年寄りはお出でできないですから銀行の決済なんかを全部パソコンで済ますんですよ。そして1週間1度程度、天

平川：あの高倉健が！

板東：そう！あの高倉健をバタバタさせたという。でもあの人からは「人間は律儀でないとイケないから出てきてくださってね。」

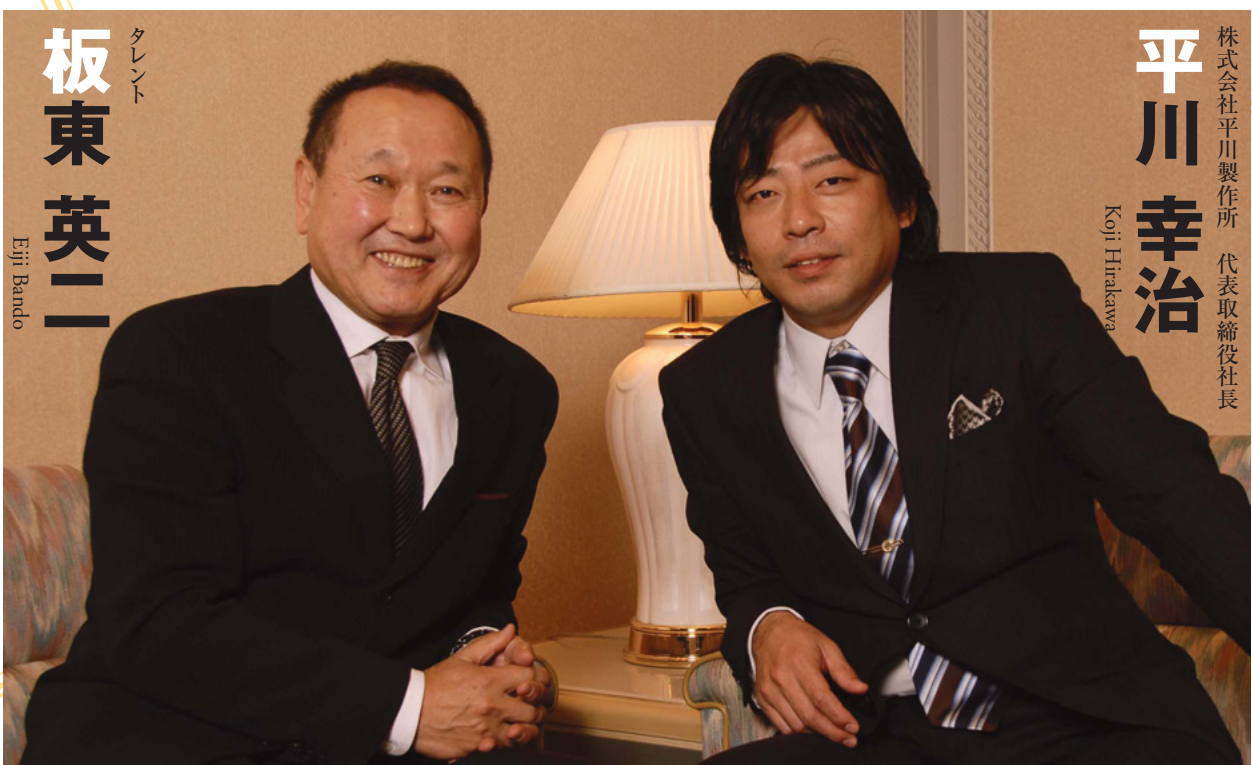
# Professional対談

野球なんてそんなものはねえ、一瞬の夢みたいなもんですよ、長い人生においては…。

(後編)

な夢と大きなキャッシュを一度に掴む。ルでありつづけるタレント板東英二氏の

戦後という状況下で幼少時代を乗り越え、大きな人生においてあらゆる時もプロフェッショナルの生き様を問う。



タレント  
板東英二  
Eiji Bando

株式会社平川製作所 代表取締役社長  
平川幸治  
Koji Hirakawa

にもセンス、説得力をすごく感じるのですが、これも板東さんの才能でしょうか？

板東：まあもともとオシャベリだったんでしょね。でも僕の場合は運がよかったですよ。それは、「あいつは野球選手でありながら話がおもしろい！」という下駄の部分がすごく高かったですから。芸人同士で戦っていたら全然たいしたことはないんです。でもやはり僕は僕を高く評価するんですよ、甘いもんでね。

平川：こうしてお話を伺っていますと全国規模でご活躍されているだけあって、やはりトーク

平川：たしかに最初のそういう評価は理解できるんですが、そ



Eiji Bando

退後の選手に新たな道を拓いてくれた」と言ってく下さいましてね。だからそういう点ではちょっとした功績を残したかな、とも思ってますけどね。

平川：あらゆる分野でいろいろな人に影響を与えて来られた板東さんですが、逆にご自身が大きな影響を受けたという人物がいらっしゃいましたら教えてくださいませんか？

板東：んー、それはやっぱり母親ですね。生きて行くというのはいへんだということを、身をもって教えてくれましたから。だから嘘もついたしヤンチャもしましたけど、母親だけは守ってきた

平川：そう言っ頂けるとほんとうに励みになります。本日はお忙しいところありがとうございました。